ＰＦ－製仕－０７０Ｃ
年　　月　　日

角型エフレックス用
ジェネレックス変換継手

仕　　様　　書

古河電気工業株式会社
ＡＴ・機能樹脂事業部門
機能樹脂技術開発部

1. 適用範囲

この仕様書は、「角型エフレックス」の異種管接続用部材として使用されるジェネレックス変換継手について適用します。

2. 種類

ジェネレックス変換継手の種類と構成部材は表-1 の通りとします。

表-1　種類、構成部材

呼び径	品番	対応する異種管	構成部材
φ81	KD-81-NFG	ジェネレックスφ80	継手本体：1 個 C リング：1 個 ゴムパッキン：1 個
φ100	KD-100-NFG	ジェネレックスφ100	
φ150	KD-150-NFG	ジェネレックスφ150	

3. 材料

ジェネレックス変換継手に使用する材料は、表-2 の通りとします。

表-2　材料

構成部材	材料
継手本体	硬質塩化ビニル管
C リング	硬質プラスチック
ゴムパッキン	軟質ゴム

4. 形状・寸法

ジェネレックス変換継手の継手本体、C リング、ゴムパッキンの形状及び寸法は、それぞれ表-3、4、5 の通りとします。継手本体は片端が C リングとゴムパッキンを介してジェネレックスに接続できる形状で、もう片端は角型エフレックスのオス部に接続できる形状とします。

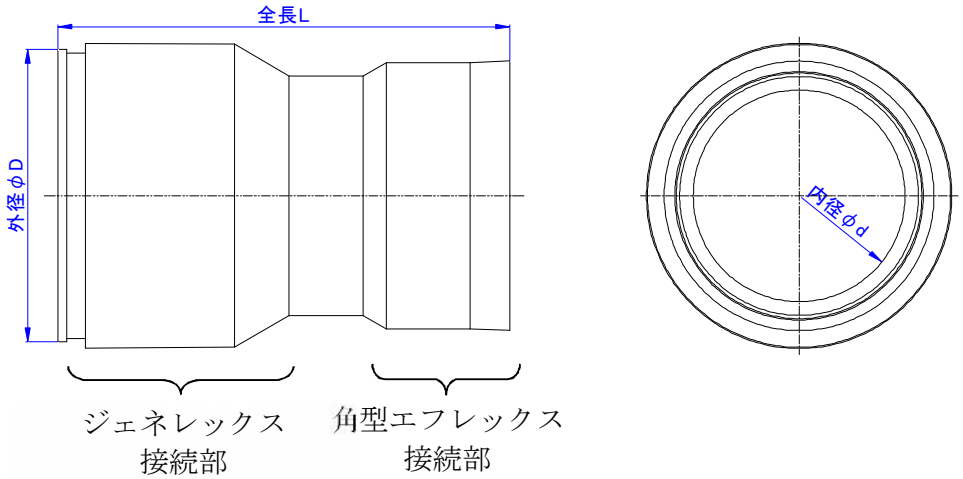

表-3　継手本体の寸法

呼び径	品番	φd（mm）	φD（mm）	L（mm）
φ81	KD-81-NFG	83±3	117.3	250±10
φ100	KD-100- NFG	100±3	146.7	320±10
φ150	KD-150- NFG	150±3	207.4	360±10

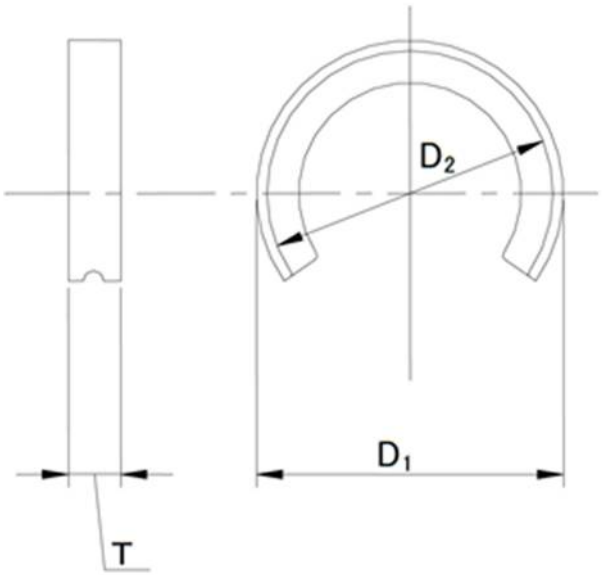

表-4　C リングの寸法

呼び径	φD_1（mm）	φD_2（mm）	T（mm）
φ81	118.0±2	108.0±2	20±1
φ100	147.0±2	137.0±2	25±1
φ150	213.0±2	200.0±2	25±1

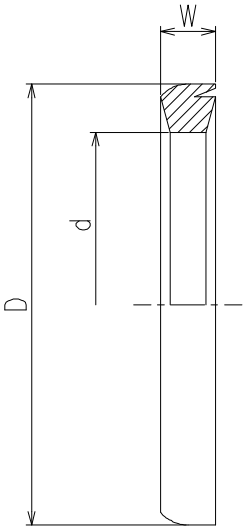

表-5　ゴムパッキンの寸法

呼び径	φD（mm）	φd（mm）	W（mm）
φ81	105.0±2	82.0±2	13±2
φ100	134.5±2	100.0±2	16±2
φ150	195.0±2	150.5±2	21.5±2

5. 特性

ジェネレックス変換継手の特性は表-6 の通りとします。

表-6　特性

項目	特性	試験方法
外観	実用上不適当な傷、割れ等がないこと	6.1
寸法	表-2 に示す寸法であること	6.2
水密性	外水圧 0.05MPa で 10 分間保持したとき、漏水等の異常がないこと	6.3
引抜強度	20mm/min の速度で引張り、φ81：500N、φ100：800N、φ150：800N で抜けないこと	6.4

6. 試験方法

6.1. 外観

目視にて確認します。

6.2. 寸法

表-3、4、5 記載の寸法についてノギスを用いて測定します。測定温度は、20±15℃とします。径は管軸に直角な同一平面で、ほぼ等しい角度を有する２ヶ所で測定した値の平均を採ります。

6.3. 水密性

ジェネレックス変換継手の角型エフレックス接続部に角型エフレックスのオス継手部、ジェネレックス接続部にジェネレックスを接続し、両端に栓をした状態の試料を、水を満たしたタンク内にセットし、常温で外水圧 0.05MPa で 10 分間保持し、漏れやその他の異常が無いかを調べます。

6.4. 引抜強度

ジェネレックス変換継手の角型エフレックス接続部に角型エフレックスのオス継手部を接続し、両端を把持して常温で 20mm/min の速度で引張ります。

7. 注意事項

・プラスチック製品のため火気厳禁です。
・ジェネレックス変換継手は、有機溶剤や可塑剤が接触すると、亀裂を起こす原因となりますので、有機溶剤や可塑剤が付着しないようご注意願います。特に、シーリング剤には、有機溶剤（キシレン、トルエンなど）や可塑剤（フタル酸エステル、DOP など）を含むもの（ポリウレタン系シーリング剤等）がありますので、成分をご確認の上、ご使用下さい。
・ジェネレックス変換継手の内面に傷がつくと、水密性を損なう恐れが有ります。当該部に傷がつかないように、お取り扱い下さい。
・高所からの落下等、強い衝撃を与えると、割れや欠けが生じる恐れがありますので、ご注意下さい。
・ジェネレックスは、山部で切断し、端面のバリを取って接続して下さい。
・施工時の注意事項は、同梱された取扱説明書をご確認下さい。

8. その他

本書記載の仕様は、製品改良のためことわりなく変更する場合がありますのでご了承下さい。

-以　上-

古 河 電 気 工 業 株 式 会 社